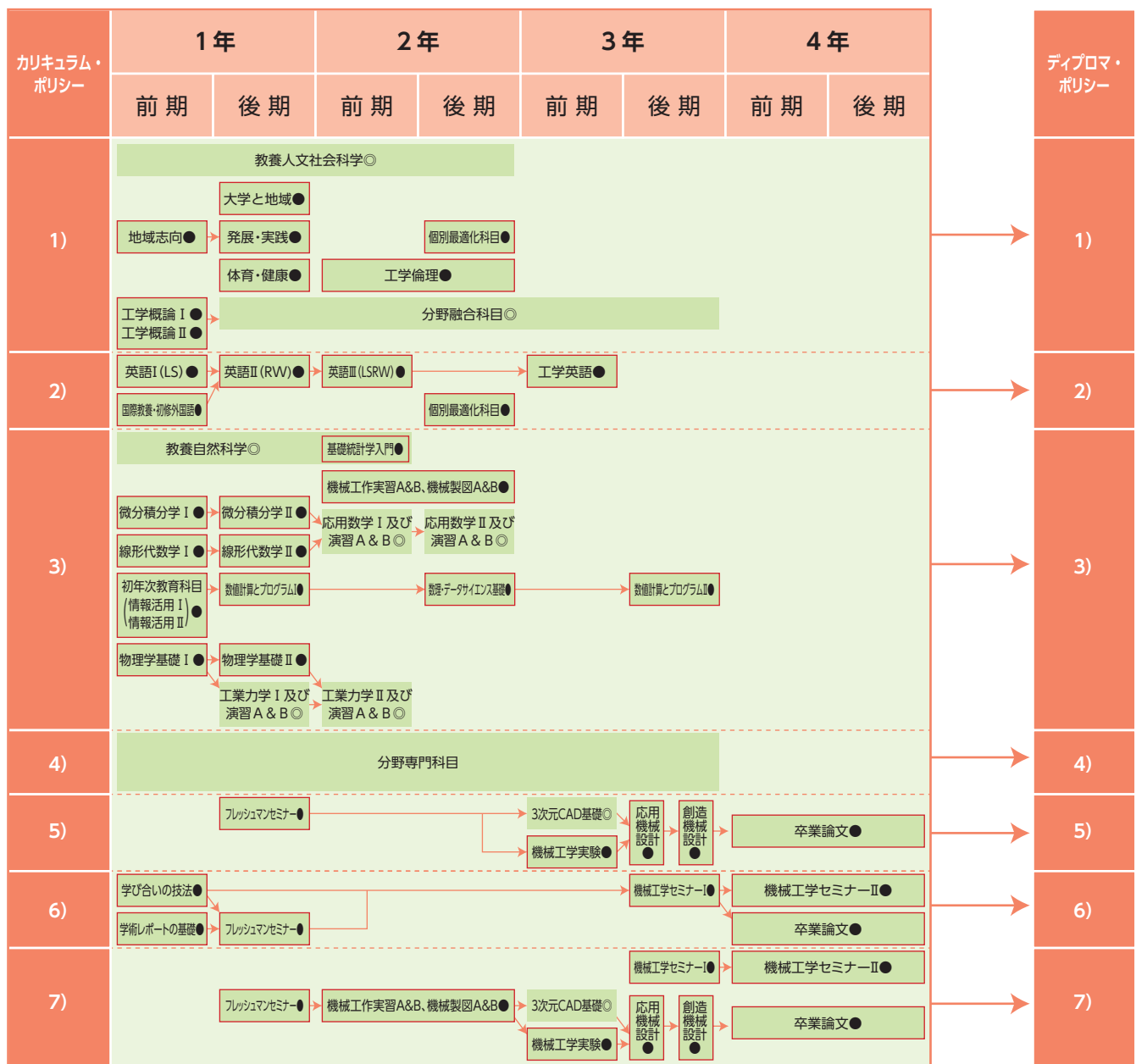


プログラムカリキュラム・ポリシー	対応する学部CP
1) 人類の幸福と福祉、エネルギーと環境、人間と社会、大学と地域などの調和を考える教養知識を習得するための科目を配置します。	①
2) 国際的な場で活用できる外国語の基礎語学能力を習得するための科目を配置します。	⑥
3) 数学・力学・情報技術に関する工学基礎学力を養成するための科目を配置します。	②⑤
4) 機械工学の基礎となる材料・流体・熱・構造・設計・加工・制御などに関する科目と、問題解決に活用できる演習科目を配置します。	③
5) 基礎学力を総合的に応用して自主的に問題に取り組み、「ものづくり」できる創造力とデザイン能力を養成する科目を配置します。	④
6) 調査、討論、発表、対話などを通じて、課題の発見・分析・解決の能力及びコミュニケーション能力を養成する科目を配置します。	④⑥
7) 計画的に調査、取りまとめを行い、自主的に解を導き出す能力を養成する科目を配置します。	⑥

プログラムディプロマ・ポリシー	対応する学部DP
1) 普遍的な倫理観を持って、人類の幸福と福祉、エネルギーと環境、人間と社会などの調和を洞察でき、多面的に考える能力	①
2) 国際的な場で活用できる外国語の基礎的な能力、及び日本語や英語の情報を伝達できるコミュニケーション能力	②
3) 数学や自然科学の基礎の基に、工学的基礎に関する知識を活用できる能力	①②
4) 機械工学の基礎知識を修得し、それらを問題解決に活用できる能力	①②
5) 機械工学の知識を総合的に応用して、工学的問題を自主的に分析し解決するためのデザイン能力	②
6) チーム又は個人による調査、討論、発表などを通じて自ら課題を発見し、それを解決する能力	①
7) 自己の能力を主体的に生涯にわたって継続して向上できる能力	②

カリキュラム・マップ



プログラムカリキュラム・ポリシー

- 1) 技術者として環境と技術の調和と社会責任を考え、職業を通じて地域並びに国際社会に貢献しようと考えられる能力を習得させるための技術者倫理科目
- 2) 専門分野にとどまらず、諸科学・学問に対する普遍的学究態度と多面的に物事を考える能力を習得させるための多面的な思考科目
- 3) 日本語によって論理的に記述し説明・討論する能力、及び国際的に活躍するために必須である英語によるコミュニケーション能力を習得させるためのコミュニケーション能力科目
- 4) 数学、物理学、及びコンピュータに関する基礎知識とそれらを応用できる能力を習得させるための基礎学力科目
- 5) 電気電子工学の基礎となる電気磁気学、電気回路学及び電子回路学を修得し、電気電子工学の課題へ応用する能力を習得させるための専門基礎科目
- 6) 電子物性デバイス工学系、電気エネルギー工学系、通信システム工学系等の専門の講義、実験、演習を通じて、第一線で活躍できる電気電子工学の技術者・研究者となるための能力を習得させるための専門学力科目
- 7) 与えられた制約の下で実験や研究を計画・遂行する能力、電気電子工学の技術者が経験する工学上の問題点と課題を理解し解決する能力、及び創造性、チームワーク、種々の制約条件を考慮できる能力を習得させるためのデザイン・課題解決能力科目
- 8) 卒業後も新たな知識や情報を獲得し、自主的に継続して学習できる能力を習得させるための継続的な学習科目

対応する学部CP

- ①
- ①
- ⑤
- ②
- ③
- ③
- ④
- ⑥

プログラムディプロマ・ポリシー

- 1) 技術者として環境と技術の調和と社会責任を考え、職業を通じて地域並びに国際社会に貢献しようと考えられる能力
- 2) 専門分野にとどまらず、諸科学・学問に対する普遍的学究態度と多面的に物事を考えることができる能力
- 3) 日本語によって論理的に記述し説明・討論できる能力、及び国際的に活躍するために必須である英語によるコミュニケーションをとることができる能力
- 4) 数学、物理学、及びコンピュータに関する基礎知識とそれらを応用できる能力
- 5) 電気電子工学の基礎となる電気磁気学、電気回路学及び電子回路学を修得し、電気電子工学の課題へ応用できる能力
- 6) 第一線で活躍できる電気電子工学の技術者・研究者となることができる能力
- 7) 与えられた制約の下で実験や研究を計画・遂行できる能力、電気電子工学の技術者が経験する工学上の問題点と課題を理解し解決できる能力、及び創造性、チームワーク、種々の制約条件を考慮できる能力
- 8) 卒業後も新たな知識や情報を獲得し、自主的に継続して学習できる能力

対応する学部DP

- ①
- ①
- ②
- ②
- ②
- ②
- ②
- ②

カリキュラム・マップ

カリキュラム・ポリシー	学習・教育到達目標	1年		2年		3年		4年		ディプロマ・ポリシー		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
1)	(A) [技術者倫理]	教養自然科学(選択必修科目)* 教養人文社会科学(選択必修科目)* 大学と地域				工場見学○ インターンシップ○ エンジニアリング・デザイン実習●		電気法規及び施設管理○ 電波法○ 工学倫理●		1)		
	(心身の健康)	初年度教育科目(体育・健康)										
2)	(B) [多面的な思考]	工学概論Ⅰ● 工学概論Ⅱ● 学び合いの技法 学術レポートの基礎 国際教養(選択必修科目)*		計算機ハードウェア技術○ 化学技術と工学○ 先端計測学○ 工学のための地球科学○		エネルギー変換工学○ 環境保全と防災○ 環境生体センシング技術○		工学材料の微小構造と性質○ 科学技術と生産○ 核エネルギーと放射線○ 生命工学○ エンジニアリング・デザイン実習●		卒業論文●	2)	
3)	(C) [コミュニケーション能力]	グローバル教育科目(英語) 初修外国語(選択必修科目)*		電気電子工学実験Ⅰ○		電気電子工学実験Ⅱ○		工学基礎英語○ 電気電子工学実験Ⅱ○ エンジニアリング・デザイン実習●		電気電子英語●	卒業論文●	3)
4)	(D) [基礎学力]	物理学基礎Ⅰ● → 物理学基礎Ⅱ● 微分積分学Ⅰ● → 微分積分学Ⅱ● 線形代数学Ⅰ● → 線形代数学Ⅱ● 情報活用Ⅰ 情報活用Ⅱ		教養教育科目(基礎統計学入門) 応用数学Ⅰ及び演習● → 応用数学Ⅱ及び演習● コンピュータ工学○ → プログラム基礎と演習○		数理・データサイエンス基礎●						4)
5)	(E) [専門基礎]	フレッショマン・セミナー●		電気回路学Ⅰ及び演習● → 電気回路学Ⅱ及び演習● 量子力学● → 電子物性基礎○ → 量子物性工学○		電気磁気学Ⅰ及び演習● → 電気磁気学Ⅱ及び演習● 半導体工学● → 電子材料工学○ 電気機器学Ⅰ● → 電気機器学Ⅱ○ → 電気電子設計製図○ 制御工学● → システム制御工学○ 電気エネルギー工学○ → 高電圧・プラズマ工学○		電気法規及び施設管理○ 電波工学○ → 電波法○				5)
6)	(F) [専門学力]			電気電子工学実験Ⅰ○ → 電気電子工学実験Ⅱ○ 電気電子学計測○ 電気電子工学特別講義Ⅰ○ 電気電子工学特別講義Ⅱ○		電気回路学Ⅲ○ → 電気エネルギー工学Ⅱ○ アナログ電子回路● → デジタル電子回路○ 通信工学● → 電波工学○ システム工学○		電気電子設計製図○ 電気法規及び施設管理○ 電波法○				6)
7)	(G) [デザイン・課題解決能力]	地域志向(選択必修科目)* 発展・実践(選択必修科目)* フレッショマン・セミナー●		電気電子工学実験Ⅰ○ → 電気電子工学実験Ⅱ○ エンジニアリング・デザイン実習●		電気電子工学実験Ⅲ○ エンジニアリング・デザイン実習●		卒業論文● 電気電子設計製図○				7)
8)	(H) [継続的な学習]					工場見学○ インターンシップ○ 電気電子工学特別講義Ⅰ○ 電気電子工学特別講義Ⅱ○		卒業論文●				8)

■は共通教育科目 ●:必修科目 ○:選択必修科目 ○:その他の選択科目

プログラムカリキュラム・ポリシー	対応する学部CP
<b>[A] 持続可能な開発に向けた多様性と包摂性の必要性、および技術者の責任の理解の養成を行うための科目群</b>	
[A-1] 人と社会の多様性を認識して異なる立場や価値観を持つ人々と協働する意義の理解するための科目	①
[A-2] 工学分野における複合的な問題に対処する知識の獲得と技術者の責任の理解するための科目	①③④
<b>[B] 海洋土木工学分野に必要な知識の体系的な理解とそれを活用する能力の養成を行うための科目群</b>	
[B-1] 海洋土木工学分野に適用可能な数学、自然科学および情報技術の基礎知識を活用する能力を養成するための科目	②⑤
[B-2] 海洋土木工学に関連する専門的知識を活用する能力を養成するための科目	②③
<b>[C] 地域社会の課題を自主的に発見し、それを分析・解決する能力・態度の養成を行うための科目群</b>	
[C-1] 持続可能な開発に貢献するために必要な海洋土木工学分野の基礎知識を活用する能力を養成するための科目	②③④
[C-2] プロジェクトをマネジメントするために必要なコミュニケーション能力を養成するための科目	①⑥
[C-3] 実験・調査・研究を通じた新技術への適応や継続的研鑽の必要性の理解するための科目	④⑥

プログラムディプロマ・ポリシー	対応する学部DP
<b>[1] 持続可能な開発に向けた多様性と包摂性の必要性、および技術者の責任の理解の養成</b>	
[1-1] 人と社会の多様性を認識して異なる立場や価値観を持つ人々と協働する意義の理解	①
[1-2] 工学分野における複合的な問題に対処する知識の獲得と技術者の責任の理解	①
<b>[2] 海洋土木工学分野に必要な知識の体系的な理解とそれを活用する能力の養成</b>	
[2-1] 海洋土木工学分野に適用可能な数学、自然科学および情報技術の基礎知識を活用する能力	②
[2-2] 海洋土木工学に関連する専門的知識を活用する能力	②
<b>[3] 地域社会の課題を自主的に発見し、それを分析・解決する能力・態度の養成</b>	
[3-1] 持続可能な開発に貢献するために必要な海洋土木工学分野の基礎知識を活用する能力	②
[3-2] プロジェクトをマネジメントするために必要なコミュニケーション能力	①②
[3-3] 実験・調査・研究を通じた新技術への適応や継続的研鑽の必要性の理解	①②

カリキュラム・マップ

カリキュラム・ポリシー	1年		2年		3年		4年		ディプロマ・ポリシー	
	前期(1期)	後期(2期)	前期(3期)	後期(4期)	前期(5期)	後期(6期)	前期(7期)	後期(8期)		
[A]	[A-1]	●学び合いの技法(1T) ●學術レポートの基礎(2T) ●學術レポートの基礎(2T) ○地域志向科目 ○教養人文社会科学科目 ○個別最適化科目 ○教養自然科学	●体育・健康科学理論 ●体育・健康科学実習 ●大学と地域 ○地域志向科目 ○発展・実践科目 ○教養人文社会科学科目 ○個別最適化科目 ○教養自然科学	○発展・実践科目 ○教養人文社会科学科目 ○個別最適化科目	○発展・実践科目 ○個別最適化科目					[1-1]
	[A-2]	●フロンティアセミナー ●工学概論I <sup>注1</sup> ●工学概論II <sup>注1</sup> ●工学分野実験・演習 <sup>注3, 注5</sup>			○工学のための地球科学 <sup>注4</sup> ○計算機ハードウェア技術 <sup>注5</sup> ○先端計測学 <sup>注5</sup> ○化学技術と工学 <sup>注5</sup>	○環境保全と防災 <sup>注4</sup> ○環境生体センシング技術 <sup>注4</sup> ○エネルギー変換工学 <sup>注5</sup>	●工学倫理 ○科学技術と生産 <sup>注4</sup> ○工学材料の微小構造と性質 <sup>注5</sup> ○核エネルギーと放射線 <sup>注5</sup> ○生命工学 <sup>注5</sup>			[1-2]
[B]	[B-1]	●情報活用I(1T) ●情報活用II(2T) ●微分積分学I <sup>注1</sup> ●線形代数学I <sup>注1</sup> ●物理学基礎I <sup>注1</sup>	●微分積分学II ●線形代数学II ●物理学基礎II	●基礎自然科学 【基礎統計学入門】 ●工業数学および演習I	●工業数学および演習II		●微分・データサイエンス <sup>注3</sup>			[2-1]
	[B-2]		●材料力学基礎 ●海洋工学総論	●構造力学および演習 ●水理学I ●建設材料学	●測量学 ●土質力学I ●水理学II ○水理学演習 ○土質力学演習	●土質力学II ●構造解析学および演習 ●コンクリート構造設計学 ●水環境工学 ●海岸環境工学 ○IC/IT構造設計学演習	●海洋物理環境学 ○海洋物理環境学演習			[2-2]
[C]	[C-1]			○維持管理工学 ○土木計画学	○流域保全工学 ○海洋建設システム工学	○耐震工学 ○合成構造システム工学 ○海岸防災工学	●海洋土木デザイン工学			[3-1]
	[C-2]	●英語I(LS) ○初修外国語(入門I) ○初修外国語(初級I) ○国際教養	●英語II(RW) ○初修外国語(入門II) ○初修外国語(初級II) ○国際教養	●英語III(LSRW) ○初修外国語(入門II) ○初修外国語(初級II) ○国際教養	○国際教養	●工学英語 ●建設マネジメント	●海洋土木専門英語			[3-2]
	[C-3]			○プログラミング演習 ○海工学実験	●測量実習 ○土質工学実験 ○建設工学実験 ○海洋土木学外実習 ○空間情報工学実習	●海洋土木工学総論 ●卒業論文	●卒業論文			[3-3]

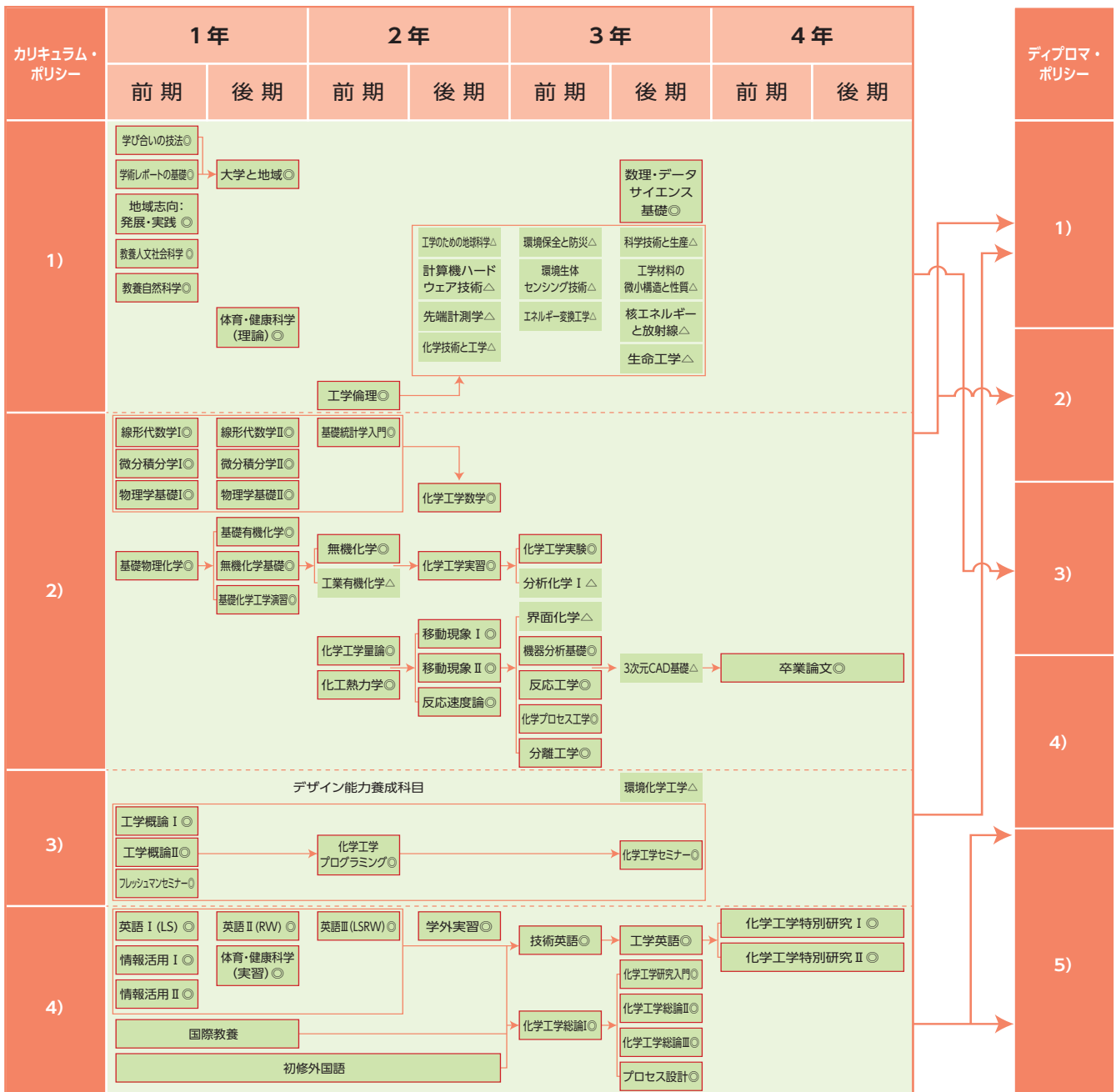
●:必修科目、○:選択必修科目  
 ※専門教育科目と共通教育科目の授業の流れは「履修要項・学修案内」を確認してください。  
 注1:学部共通科目(工学基礎教育強化科目)の必修科目  
 注2:学科共通科目(工学基盤情報科目)の必修科目  
 注3:工学系共通クラスの必修科目  
 注4:学部共通科目(分野融合科目)の選択科目  
 注5:学科共通科目(分野融合科目)の選択科目

プログラムカリキュラム・ポリシー	対応する学部CP
1) 人類の持続可能な共生社会創出のため、国際的視野から多様な地域社会に寄与できる豊かな人間性、社会性、高い倫理観を身につけるための教養科目と専門科目を配置します。	①②
2) 自然科学の基礎知識と教養、及び確かな化学工学専門知識に基づく設計と応用によって人類社会に貢献できる能力を身につけるための科目を配置します。	②③
3) チーム内での役割を制約下で果たし、地域の文化や風土及び産業と調和した工学技術をデザインするために、化学工学に関するデザイン能力を養成するための科目を配置します。	④⑤
4) 国際的な情報交換と協調及び生涯にわたる自己研鑽によって、社会の要請する新技術の開拓に積極的に貢献できる能力を身につけるための科目を配置します。	⑤⑥

プログラムディプロマ・ポリシー	対応する学部DP
1) 専門技術者として、化学及びその関連分野の各種プロセスやこれら要素プロセスを集合する専門技術に関する基礎知識とその応用能力、及びそれらを工学的諸問題解決やデザインに応用できる能力	②
2) 様々な諸問題を解決し、より豊かで持続可能な人類社会を創出していくのに必要な専門的知識を有し、化学工学が貢献できる各種プロジェクトを計画・推進できる能力	①②
3) 多様な地域社会の文化・風土・産業をよく理解し、それらと調和した工学技術の発展に高い倫理観をもって寄与できる能力	①②
4) 多くの専門分野の人々と日本語ならびに英語で文書・口頭あるいは情報メディア等により基本的かつ効率的なコミュニケーションができる能力	②
5) 科学や技術の進歩に対応して自発的に研鑽し生涯学習に努め、与えられた制約の下でチーム内での役割を果たせる能力	②

カリキュラム・マップ

○:必修科目、△:選択科目



1) 人類の持続可能な共生社会創出のため、国際的視野から多様な地域社会に寄与できる豊かな人間性、社会性、高い倫理観をもつ人材の養成  
 2) 自然科学の基礎知識と教養、および確かな化学工学専門知識に基づく設計と応用によって人類社会に貢献できる人材の養成  
 3) チーム内での役割を制約下で果たし、地域の文化や風土および産業と調和した工学技術をデザインできる人材の養成  
 4) 国際的な情報交換と協調および生涯にわたる自己研鑽によって、社会の要請する新技術の開拓に積極的に貢献できる人材の養成

プログラムカリキュラム・ポリシー

対応する  
学部CP

- 1) 豊かな人間性と社会性による倫理観を備えるため、また、国際的視野のもと、自然・環境の摂理と諸科学の基礎知識を吸収して共生する能力を備えるための、共通教育科目、基礎教育科目、及び専門科目の工学倫理等
- 2) 数学、工学基礎や情報処理技術及び化学工学に関する基礎知識と能力を備えるための、専門科目の応用数学Ⅰ、物理化学基礎、化学工学基礎、情報システム等
- 3) 化学と生物の基礎知識を柔軟に駆使しながら、新材料やバイオ技術の創製と評価に生かせる継続的な創造能力を備えるための、専門科目の有機化学、高分子化学、分析化学、生物化学、物理化学等
- 4) 日常的・国際的コミュニケーション能力を備えるための、情報活用、化学生命工学英語、工学英語Ⅰ&Ⅱ、化学生命工学セミナーⅠ&Ⅱ等
- 5) 与えられた要求に対して、知識・技術を駆使して総合的に判断し、実現可能な解決方法を提案できるデザイン能力とチームで仕事をする能力を備えるための、フレッシュマンセミナー、学生実験、演習、キャリアデザイン、卒業研究・講座ゼミ、学外実習・工場見学等

- ①
- ②
- ③④
- ⑤
- ④⑤⑥

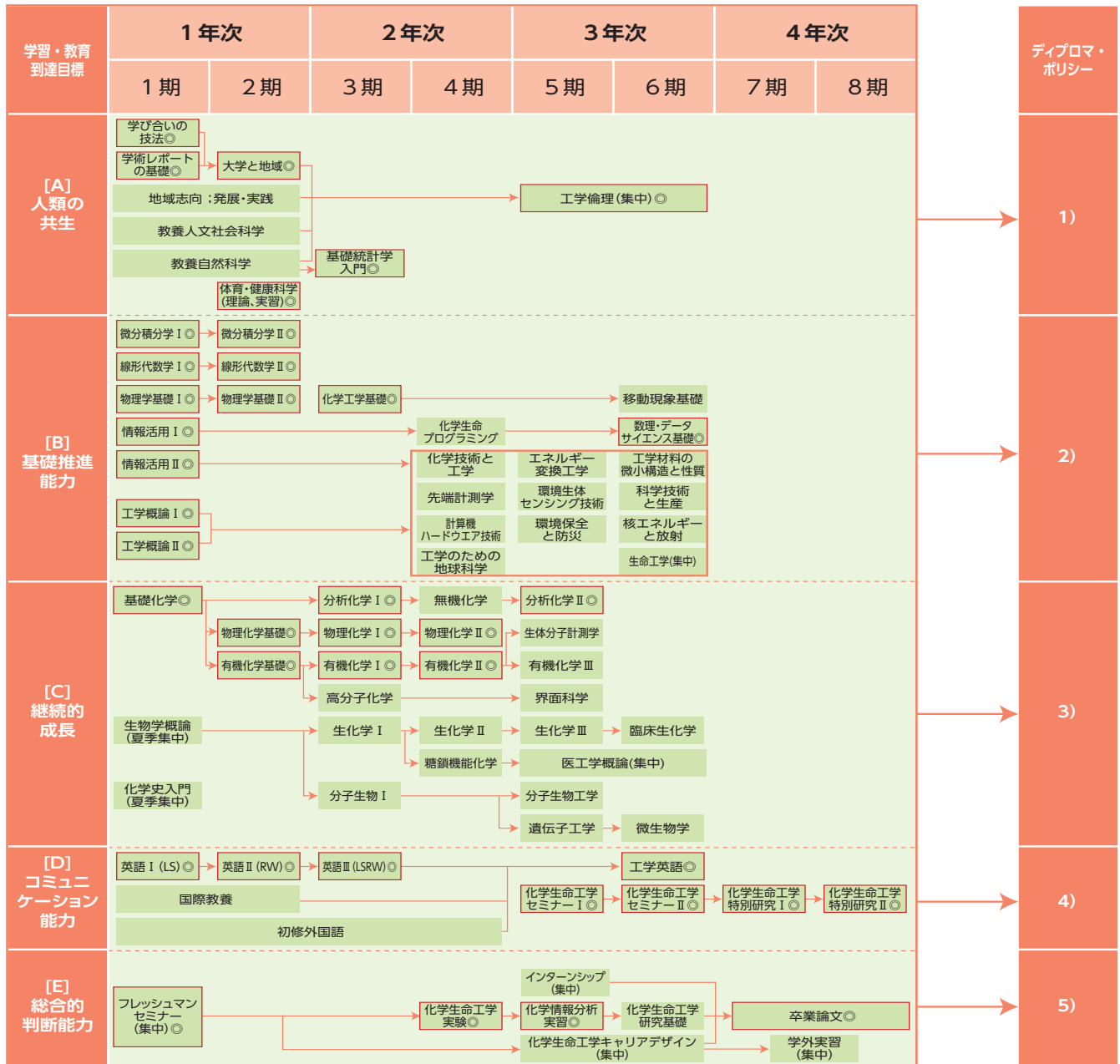
プログラムディプロマ・ポリシー

対応する  
学部DP

- 1) 豊かな人間性と社会性による倫理観を備え、国際的視野のもと、自然・環境の摂理と諸科学の基礎知識を吸収して共生できる能力
- 2) 数学、工学基礎や情報処理技術、化学工学に関する基礎知識を理解し応用できる能力
- 3) 化学と生物の基礎知識を柔軟に駆使しながら、新材料やバイオ技術、薬の創製と評価ができる能力
- 4) 日常的・国際的コミュニケーションができる能力
- 5) 与えられた要求に対して、知識・技術を駆使して、総合的な判断と実現可能な解決方法の提案ができる能力(デザイン能力)

- ①
- ①②
- ②
- ②
- ①②

カリキュラム・マップ



○必修科目

プログラムカリキュラム・ポリシー	対応する学部CP
1) 豊かな人間性と社会性を備え、自然科学、工学及び情報技術の発達が社会と自然におよぼす影響と技術者の責任についてグローバルな視点から理解し、考える能力を備えるための、教養科目、工学部共通科目、倫理科目	①
2) 情報生体システム工学の基礎となる数学、物理学や情報システム基礎などの基礎学力を身につけ、その知を問題解決のために応用できる能力を備えるための、工学基礎科目	②
3) プログラム能力とソフトウェア開発のための能力を備えるための、ソフトウェアコア科目	③
4) システム構築のための能力を備えるための、情報システムコア科目	③
5) 情報システムや認知・生体システムの専門技術者・研究者としての能力を備えるための情報生体システム科目	④
6) 外国語による論理的記述力、発表能力、コミュニケーション能力を備えるために、語学科目	⑤
7) 問題解決能力を備えるための、実験科目	⑥

プログラムディプロマ・ポリシー	対応する学部DP
1) 技術者の使命と倫理 豊かな人間性と社会性を備え、自然科学、工学及び情報技術の発達が社会と自然におよぼす影響と技術者の責任についてグローバルな視点から理解し、考えることができる能力	①
2) 基礎学力 情報・生体工学の基礎となる数学、物理学や情報システム基礎などの基礎学力を身につけ、その知識を問題解決のために応用できる能力	①
3) ソフトウェアの知識と応用力 プログラミング、ソフトウェア工学とその関連分野の理論と応用を学び、プログラミングとソフトウェア開発ができる能力	②
4) 情報システムの知識と応用力 計算機システム、情報ネットワークとその関連分野の理論と応用を学び、システム構築ができる能力	②
5) 情報・生体工学の専門知識と応用力 情報システムや認知・生体システムにおけるより専門性の高い知識と応用を学び、専門技術者・研究者としての能力	②
6) コミュニケーション能力 正しい日本語による論理的記述、発表、コミュニケーションや、英語による基本的なコミュニケーションができる能力	②
7) デザイン能力 現状分析と問題点抽出のための情報収集能力や自主的で継続的な学習姿勢と、解決に至る計画を自ら立案し遂行できる能力	②

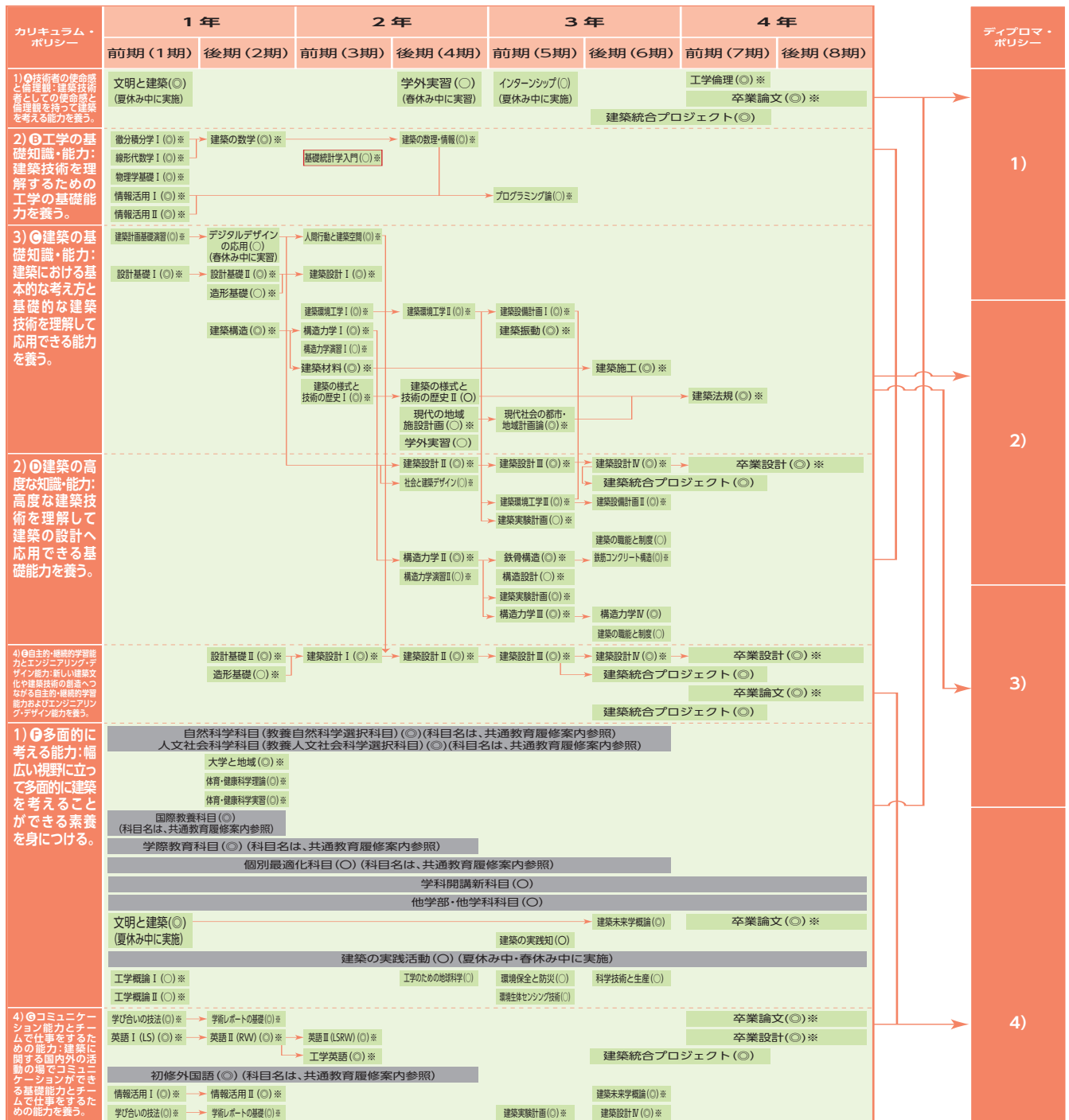
カリキュラム・マップ



プログラムカリキュラム・ポリシー	対応する学部CP
1) 建築技術者としての使命感と倫理観を持ち、幅広い視野に立って多面的に建築を考えることができる能力を養成する科目を実施	③④
2) 建築分野の基礎から応用までの理論・技能を修得し発展させるための汎用的な専門能力を得させるため基礎教育、専門教育を実施	①
3) 建築における基本的な考え方を理解し、工学技術と人文社会科学・芸術の知識を応用することができる総合力を養成する科目を実施	①
4) 新しい建築文化や建築技術の創造へつながる自主的・継続的学習能力及びエンジニアリング・デザイン能力（必ずしも正解の無い複合的な課題に対して、創造的かつ効果的な解決策を提示できる能力）を養成する科目を実施	②⑤

プログラムディプロマ・ポリシー	対応する学部DP
1) 建築技術者としての使命感と倫理観を持ち、幅広い視野に立って多面的に建築を考えることができる能力	①
2) 建築における基本的な考え方を理解し、工学技術と人文社会科学・芸術の知識を応用することができる総合力	①
3) 新しい建築文化や建築技術の創造へつながる自主的・継続的学習能力及びエンジニアリング・デザイン能力（必ずしも正解の無い複合的な課題に対して、創造的かつ効果的な解決策を提示できる能力）	①
4) 地域社会及び国際社会の建築に関する場で活動できる情報発信力、コミュニケーション力、及びチームで仕事をすることができる能力	②

カリキュラム・マップ



※ 必修科目または選択必修科目  
 ○は学習・教育到達目標の達成において特に重要な位置づけにある科目(学習・教育到達目標の達成度を評価する科目)  
 ◎は学習・教育到達目標の達成において重要な位置づけにある科目(応用的・発展的科目)  
 注1) A1~G3の詳細な学習・教育到達目標は「8. 教育プログラムにおける学習・教育到達目標」を参照  
 注2) 応用的・発展的科目(○)は、学習・教育到達目標の達成度の算出には用いない。  
 注3) グレーの網掛けで囲われた科目は、枠内で開講期を選択する。